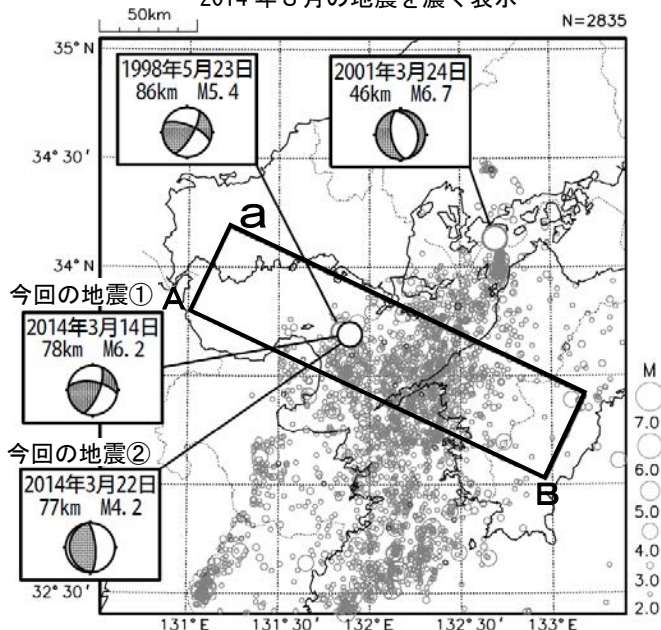


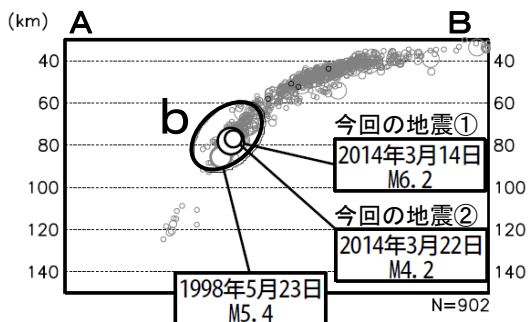
3 月 14 日、22 日 伊予灘の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2014 年 3 月 31 日、
深さ 30～150km、 $M \geq 2.0$)
2014 年 3 月の地震を濃く表示

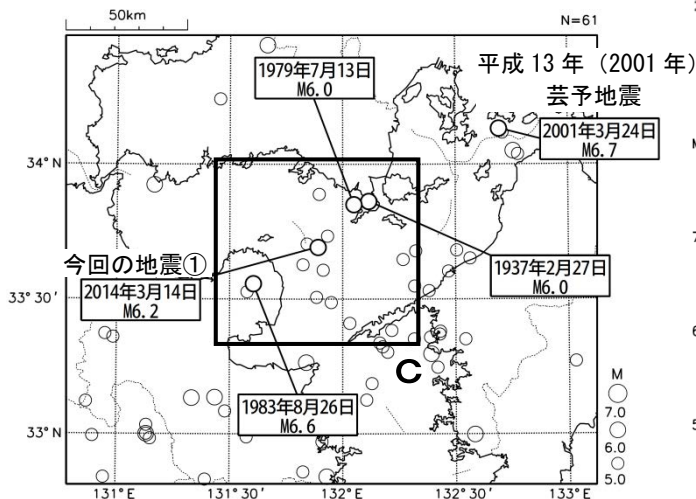


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2014 年 3 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

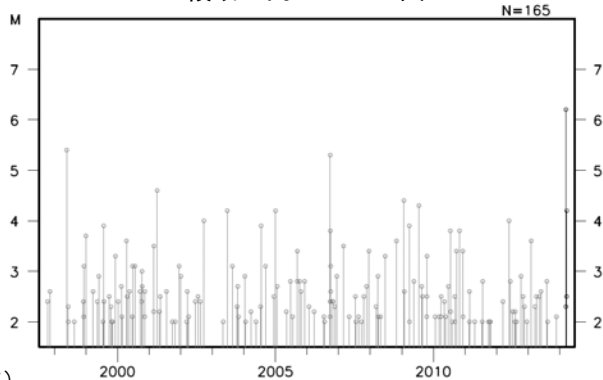


2014 年 3 月 14 日 02 時 06 分に伊予灘の深さ 78km で $M 6.2$ の地震 (最大震度 5 強、①) が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震により、広島県や愛媛県などで負傷者 21 人、住家の一部破損の被害が生じた (3 月 14 日現在。総務省消防庁による)。余震活動は低調で、震度 1 以上を観測した余震は、3 月 22 日 20 時 05 分に伊予灘の深さ 77km で発生した $M 4.2$ の地震 (最大震度 3、②) のみである。22 日の $M 4.2$ の地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

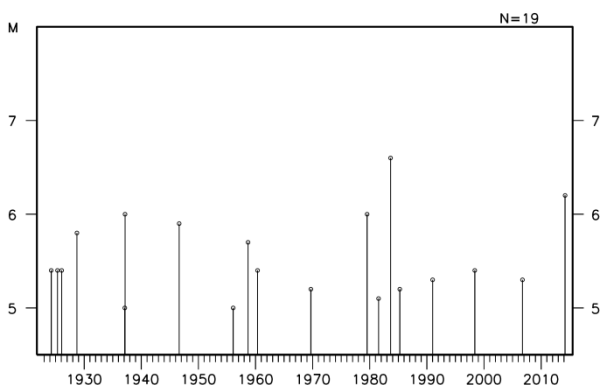
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では定常的な地震活動がある。1998 年 5 月 23 日に $M 5.4$ の地震 (最大震度 4) が発生しているが、 $M 6.0$ 以上の地震は今回が初めてである。また、今回の地震から北東に約 100km 離れたところで、「平成 13 年 (2001 年) 芸予地震」($M 6.7$ 、最大震度 6 弱) が発生した。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、1983 年 8 月 26 日に $M 6.6$ の地震が発生し、広島市内で負傷者 1 人、ガラス破損、山崩れなどの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



この地震により、松山地方気象台は震度 5 強を観測した西予市（愛媛県）に、広島地方気象台は震度 5 弱を観測した呉市（広島県）に気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し、地震動による被害状況について現地調査を実施した。その結果、西予市においては道路の亀裂や民家の屋根損傷等、呉市においては住家の外壁損壊等の被害が見られた。

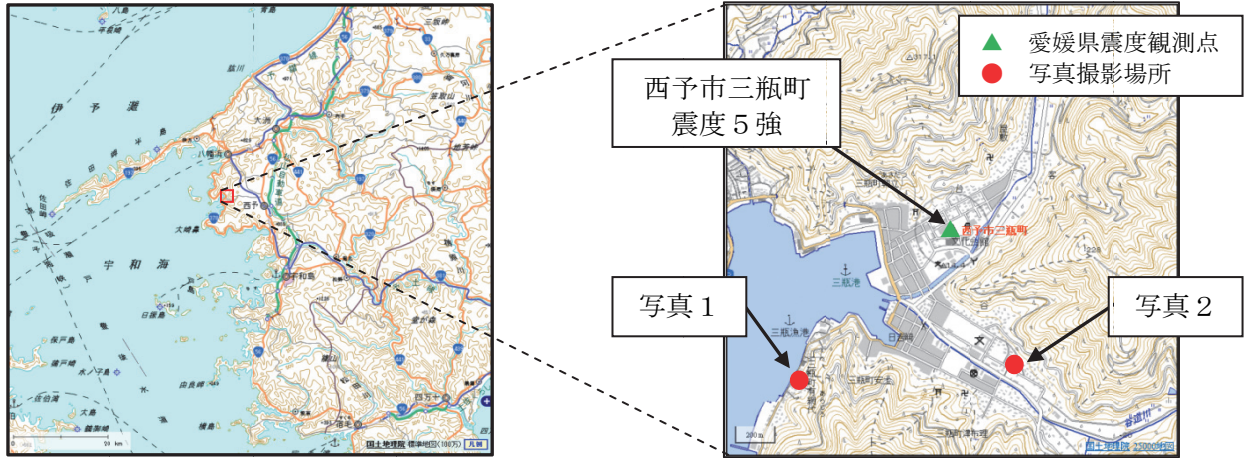


図 1 現地調査実施地域（愛媛県西予市）



写真 1 道路の亀裂（西予市三瓶町）



写真 2 民家の屋根損傷（西予市三瓶町）

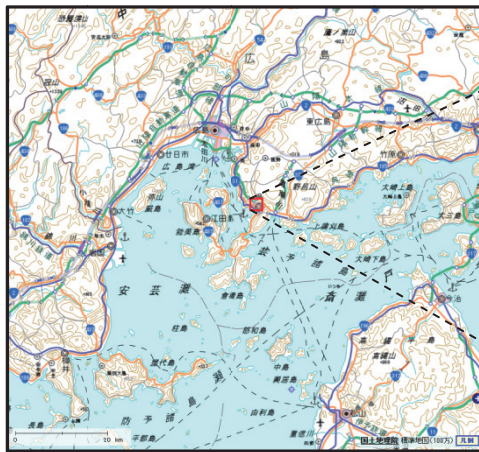


図 2 現地調査実施地域（広島県呉市）



写真 3 住家外壁の損壊と落下（呉市中通）



写真 4 住家外壁の損壊と落下（呉市東中央）